

廿六日 品 二元 吳振

東京毎日

本紙は、東京毎日新聞社が発行する、東京地方の主要新聞である。毎朝発行され、内容は国内外のニュース、経済情報、文化記事などを含む。読者は、最新の情報を得るために本紙を購読している。

偉人傳全集

第一集 目下配本中

菊池寛著

内容見本通呈 申込金五十円

ナポレオン傳

「ナポレオンと女性」

ナポレオンは、フランスの偉大な皇帝であり、ヨーロッパの歴史に大きな影響を与えた人物である。本傳は、その生涯、功業、そして私生活、特に女性との関係について詳しく描かれている。

ナポレオン傳

ナポレオンは、フランスの偉大な皇帝であり、ヨーロッパの歴史に大きな影響を与えた人物である。本傳は、その生涯、功業、そして私生活、特に女性との関係について詳しく描かれている。

!!と跡足る大巨の人偉は見

ナポレオン傳

ナポレオンは、フランスの偉大な皇帝であり、ヨーロッパの歴史に大きな影響を与えた人物である。本傳は、その生涯、功業、そして私生活、特に女性との関係について詳しく描かれている。

東郷平八郎傳

久米正雄著

東郷平八郎は、日本の海軍将領であり、日清戦争と日露戦争で活躍した。本傳は、その戦功と人物像を描いている。

主婦之友(八月號)は二大附録大が人氣大飛ぶ大賣行

此の型紙通りに裁ては誰方にも流行の洋服が縫へる

第一新案實物大の(三枚の型紙は五枚)

用子供服縫方型紙

十二種贈呈

第一目でわかる折畳式(横五尺・縦七寸)

早全國旅行大地圖

一年がかりで完成した大地圖で日本全國どこへ行ってもコレをへ持つてれば少しの不自由もありません。全讀者に無料で贈呈します。

勸業債券割増金未拂發表

復興債券割増金未拂發表

五千圓の債券贈呈大懸賞

満蒙の重大化と實力發動

國新聞記者 田子繁勝著

前編輯局長 糸里繁勝著

今日の満蒙問題は、最早議論の時代、外交交渉の範疇を通り越して、彼れは計画的に挑戦し組織的に敵對行為を開始しつつある。それは小説でも戯曲でもない、嚴肅なる事實だ。鮮人壓迫、萬寶山事件の如きは寧ろ些々たる一小片候戦に過ぎず、火蓋は既に切られ流血は野を染めてゐる。直言すれば、日本は今や第二の對支戦争、第二の對露戦役、そして世界的太平洋戦争への擴大化を痛感する、實情に直面してゐるのである。

而かも内を顧みれば如何。所謂世界的不景氣が何だ、赤字が何だ、エロが何だ、グロが何だ、死線に彷徨する失業群の大洪水を何うするのだ。一括して亡國オン・パレードの景観! 氣死と癡癡と神經衰弱時代の群像! 併しながら眼あるものは、そこに國難突破の靈火を、豫言者の聲を聴く。それは國民更生の轉機を告ぐる黎明の鐘であり、日本復興の道標を示す神の默示である。形は二百餘頁の小冊子なれども、實質は東亞の再建設と日本の運命線を示す一大照明彈である。本書を讀まざるは満蒙を論じ現代を語るは、當年のフイヒタを知らずして獨逸の復興を言議するの迂だ。

初版五萬部賣切れ 大増刷出來

主要目次

一、序論 苦難に喘ぐ日本
二、艦隊を失ふ巨艦 三大國難は一聯の環、國家意識の振興、神聖義勇時代の病象
三、國際日本の正視
四、滿蒙日本の真像、最後の運命線に退却、滿蒙の事、對支外交の退却
五、何故の反日政策か、日本の對世界的貢獻
六、滿蒙の特殊性、血塗られた権益、條約の正當性、日滿の經濟關係と國民生存權
七、支那の對日挑戦
八、深刻なる對日挑戦、滿鐵包圍計畫の激進、居住權營業權の剝奪、威力解決のみ
九、日支交戦と米露
十、米露の對支進出展望、認識錯誤に出發する對支政策、果して日本を敵とするか、十字架上の對露關係
十一、事實上の交戦狀態、日本は斯く世界に聲明せよ、米露の參戰其他の場合、最後の一言
十二、四六判 二四頁

東京、京都、松屋町
巧藝社
電話東京三三三三
電話東京四〇六六

商業登記公告

全州地方法院

商業登記公告

全州地方法院

商業登記公告

全州地方法院

並に海岸々壁の工に豫防注財を行ひ修成した。設以來十二名、殺生したの一名死に他の患者は二十四名で全部全快した(城津)

又も八月上旬には着
せしむる豫定で中
計十名増として

◆日本本年の初物である
今日四月天候回復し雄松の
鱈は豊漁に約四千担の
り作業人夫に不足し販路

據の赤字受難を尻目
出張所管内の各線七
收入は七萬二千九百
と昨年同期の四萬
家の延焼するも省みず直上
頭浦上森松同生越優三の
他の組員と共に必死的活动
努めた結果幸にして原州見

町通りも五戸七棟にして、
 御に比べると珍しく
 百八十八間の大増收
 の収入が千三百六十
 る。さすがは新興
 機き誠に氣の毒であつた

登山隊
の露宿地……
茂峰に向ふ

の一行は二十三日午前の議席を終り途中一人なく元氣旺盛で三長守地方官民の歡迎を受け

終熄 城津郡南内
右に對し調査會の回答は
内となつてゐる。なほ
こと
調査以外のものは更

我があつたが洞窟二千
し城津城において一齊
ら國王をなすことと

車員の手厚き看護により
下車せしめ鎌倉病院に收
中である（鶴原）

春川川から

誤する。これは間違つ
この邊で例のお眼ん玉
白黒させる。そして口

○それから「おれはブ
シーザーにはあらず！
はどんな意味を含めて
者も暗黙に苦しむ、今
をグツと乾かして記者
ズとつかんで『おい君
んさうに笑つてばかり

達んだが、しまひには
 見てとつた君「ね、
 賢威だかもつと研究さ
 一つその盤を考へて

北道

大田小學校
改築

大田學校組合會は二
時組合事務所に開
北島、畑、戸木、
吉原の八職員、
次いで小學校々會
隠した同校は師匠五
十餘名の増加を見
見、千六十一名に達

縁越金等を以て羽北
川^上川^上立敷地に鐵筋コ
階建階下七段階上

本造平家建使所を最
目現在の職員室、湯
を取り除き露筋コン
建、階下事務室、校
計上三枚有(二五)

五月午後八時から五
て開催坂上會長より
で幹事の決算報告

タスだ
これ
のか記
ビール
をムン
はけけ
がおれ

江景川改修、忠全
方針に基づき速進
一致可決盛況觀に
した（江景）

京南線
京城木

大田の
庭球士

大田體育會主催
全縣庭球大會は十
あつたが雨に祟ら
二日午前九時から
栗部コートで舉行

田學校組合（上）敷地は
月廿九日居留民
館に警察署長、便

百年後一
奥谷、
山田、
松本に
附を附
に百五
本現在
が更に道

に明確なる境界を
開闢地として四十
合五勺を金一百圓
鳳城北里孔在關氏
大正三年五月二日
渡邊氏から高等女
て學校組合が之を
甲論乙駁の女學科

の、後方、
リート二
と同時に昭和二年
之助氏に六千二百
円で買却せるもの

に建築し
、小使室
ト二階
、醫藥室
、大いに
正十五年七月廿日
し學校組合名義
存土地一千二百上
は林野等

沼田におい
る（江泉）

落成について、
かねて所員廿七
七日午後七時か
て開催した市民
田面長の挨拶に
の客辭あり宴會
時散會した（論

不幸な一
晩で前人氣吐

争奪第三回は廿四日説病
 院に入院した
 は麗紅殿、千々
 診断何れも略
 事となつた
 (大田)
 任命
 土地異

説あり終つ
歌を盡した

に現在の位
に在る位

大田福留等
買收し更に
千百石割で
敷地とし
したが當時
に在る位

▲東京
▲鳴鳥敬節
▲尾形幹臣氏
▲群山から大
▲善元恭氏
城方面出立
▲神出庄太郎
出張廿五
▲金岡泰氏(の
のため二十

二日安井金
六千二百十
るが安井氏

この部分も大
体査定に際
して見るを設見

歡迎會

落成祝賀會を
歡迎會を二十
事務所におい
者約八十名山
川澤裡里所長
り盛大裡に九

鳥致院出松

日岡千代光(二)
とも大田道立
五日友子、テル
は疑似運紅熱と
候に收容された
(大田)

主人思

白大郎へ
學博士) 三十日
總財務主任
十六日鹽江
鹽田區務主任
八船岸田 社
城へ

食慾
増進

高
級
アイスクリーム

東畜(府内へ製造)
東洋畜産興業株式會社
本町二丁目 東洋屋
電話本局 五七番
電話本局 二二番

入院隨意
酒井婦人病院
京城市永樂町二丁目
電話本局一八番
酒井一郎

美味胃腸藥

藥學博士高橋三郎先生の

夏瘦にゴルフ

毎年暑さに弱く極端に夏痩をする
人がゴルフを服んだばかりに少し
も瘦なかつた實例が澤山あります
食後に一、三錠のゴルフを服みになつ
て強靱きつた胃腸に活氣を與へると小
思量の増食欲の増進を來します。
ゴルフは消化を容易にし發達を助すの
み、良い最新式の胃腸藥であります。
(各藥店にあり)

定價 三十錠 五十錠
一圓 一圓五錢

梨達治 東京三井三井ビル
泰昌製藥株式會社

東洋第一

花王石鹼

日本で唯一つ

石鹼原料を精製する装置は

花王石鹼工場のみが有する

誇です

最良の原料が更に精製され

しかも花王獨特の研究に

依つて配合されるのです

皮膚の機能にびつたり

と適つたすなほな

作用が即ち

それです

純粋度九九・四%

正價一個十錢

一劑で
身心への
二重効果

すさ缺朝毎に殊今の

御活用あれ

特効、薬味お好みにならせて

仁丹に三種あり

小粒
小粒あり

銀粒

大粒

近代醫學の寵兒

グランド

藥物効果の理想境を拓く

微妙なる
仁丹の複合作用

及東洋醫學の至寶とせらるる、朝鮮人蔘、サフラ
ン等を始め數種の貴重藥を配合して、完全なる
藥物的複合効果を發揮せしむることが、仁丹の
科學的使命である。故に病者（殊に胃腸病、霍亂、
腹痛、嘔吐、風濕、等症）は勿論
健康者も御愛用
の其の日から
何となく頭が輕快である、
元氣や體力が永續する、
胃腸の具合が非常によい、
氣分が實にスガくする、

全體として體の調子が非常に良くなることを體驗せられるであらう

殊に銷夏、惡疫豫防の料として此際は絶対に必要である!!

臨床醫學に黎明を齎らす

複合學說と仁丹

醫學
は今

たは、最近の雑誌にある。この因縁の中流に於て、所謂親友と名を擧げたる、漸く累大の大勢にならうとして居ることは、斯界の新彥に驚かすべきことである。今彼の編輯部はこれを轉載して、恐らく長足の歩みを見るのである。

離れて居る通りまでの醫術は、國々の調停者として、健全主義を唱へた。即ち所謂「此れ」なれば、なべく健康状態の形を維持するのを、指した所謂新義なるその一階位を見なければならぬ。

を抽出したと稱する藥劑を用ふるこゝ、その原藥の生藥のまゝを用ふるやうには利かないといふ事實が、既設立證せられて來て、純分主義の理想が根柢から、

有効成分

ラツキ出した。

[illegible]

